

第3回 再エネ講座公開研究会  
日本版シュタットベルケの挑戦と将来展望

# 地域脱炭素に向けた 秩父市と秩父新電力の挑戦



秩父新電力株式会社  
滝澤 隆志



- 森林が87%
- ダムが4つ、水力発電所が9カ所
- 系統連携制約エリア
- 2045年には人口が▲35%という予測





### 1. 商号及び本店

秩父新電力株式会社

埼玉県秩父市熊木町9番5号 秩父ビジネスプラザ 2階

### 2. 会社設立日

2018年4月4日

### 3. 事業内容

- ・小売電気事業
- ・再生可能エネルギーを利用した電力の発電・売電事業及び買取事業
- ・地域電力事業を活用した地域の活性化及び産業の活性化に関する事業ほか

### 4. 体制

代表取締役 社長	新井 公夫 (秩父市より出向)
取締役 COO	滝澤 隆志 (秩父新電力(株) 需給管理兼新規事業部長)
取締役	北堀 篤 (秩父市長)
取締役	田端 保之 (秩父市 元・環境部長) ※現・環境部長に変更予定
取締役	稲垣 憲治 (ローカルグッド創生支援機構事務局長)
監査役	加藤 和徳 (埼玉りそな銀行 地域ビジネス部長)

## ちちぶ地域における持続可能なまちづくり

### 1. エネルギーの地産地消

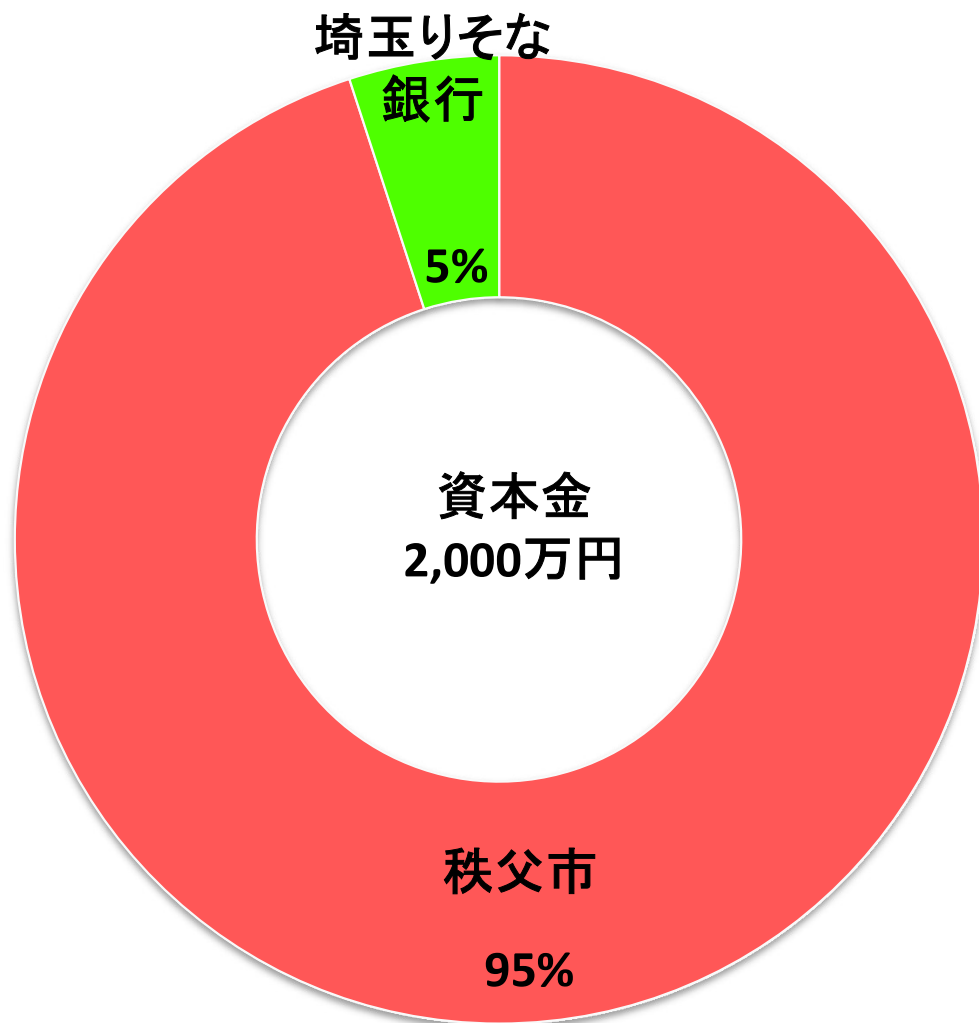
ちちぶ地域内に豊富にある再生可能エネルギーをお届けします。秩父クリーンセンターやメガソーラーの電気を始め、卒FIT太陽光や水力発電の電気を地消し、地域の低炭素化を推進します。

### 2. 地域経済の活性化

電力料金をちちぶ地域内に留めると共に、地域内雇用を生み出し、地域経済を活性化していきます。またできる限り地元企業と協業し、地域内波及効果の創出を目指していきます。

### 3. ちちぶ地域の課題解決

事業収益を地域還元するだけでなく、地域の方々と一体となってちちぶ地域の課題解決をしていきます。まずは地球温暖化問題に、将来的には少子高齢化を始めとする社会問題に取り組みます。

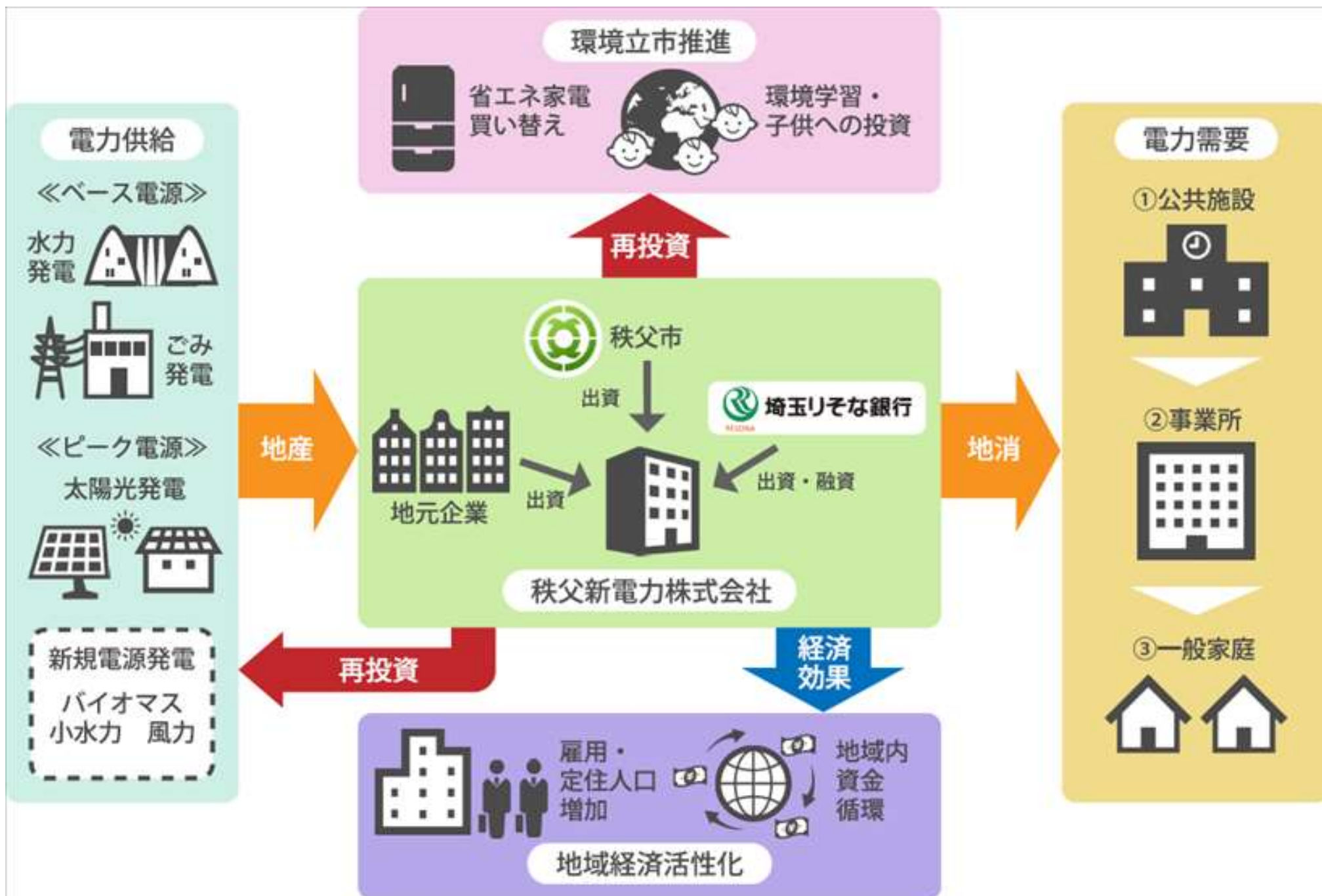


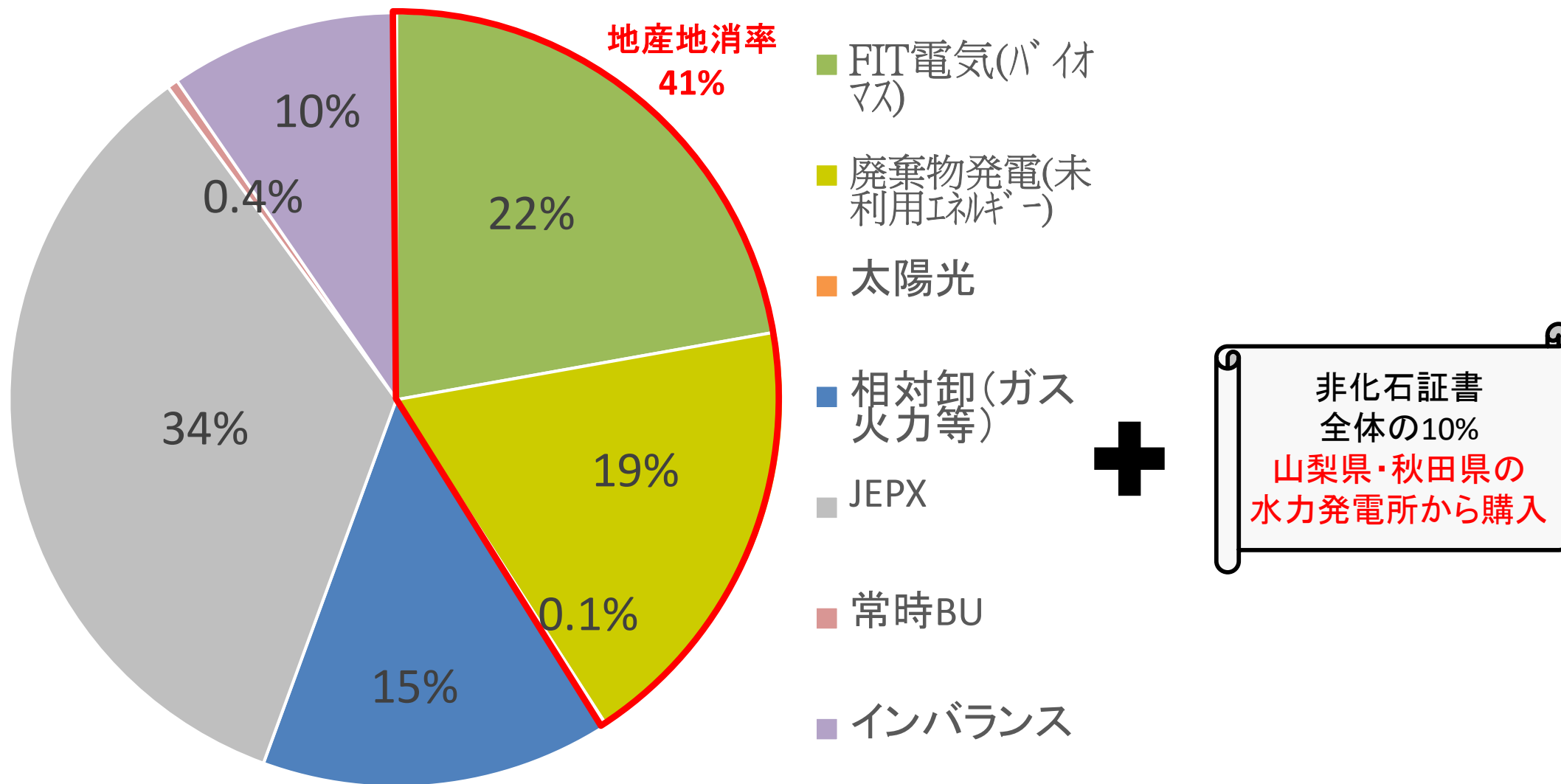
## 秩父市

- 筆頭株主として、設立理念どおりに経営がされるようにガバナンス
- 地域ニーズの集約と地域課題の特定
- 利益を地域課題解決事業に再投資

## 埼玉りそな銀行

- 株主および監査役として、主に財務面におけるガバナンス強化
- 資金面で事業運営を支援

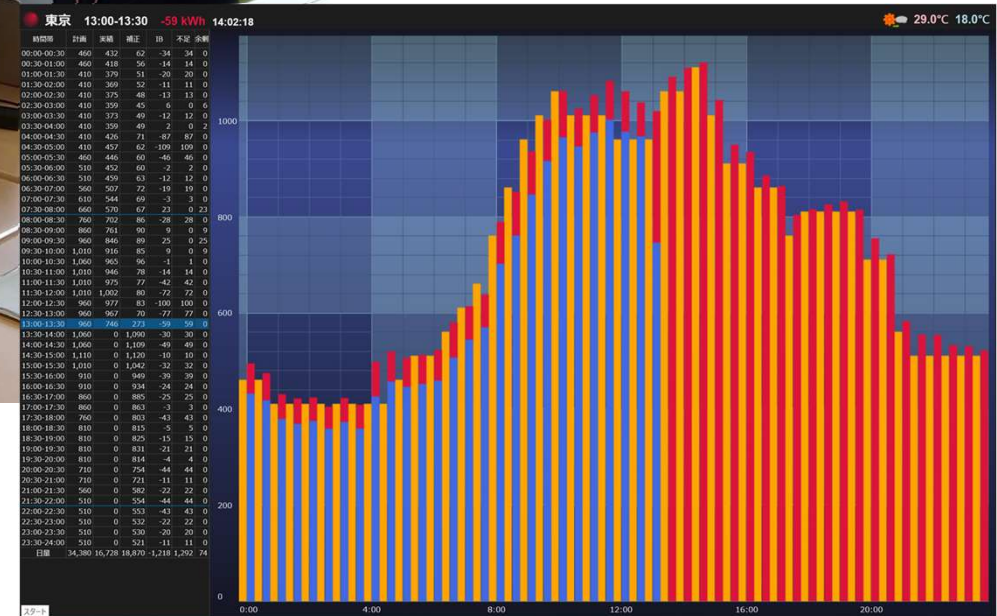




※1: FIT電気とは、太陽光、風力、水力、地熱、バイオマスの再生可能エネルギー電源を用いて発電され、固定価格買取制度(FIT)によって電気事業者に買い取られた電気のことです。当社がこの電気を調達する費用の一部は、当社のお客さま以外の方も含め、電気をご利用の全ての皆様から集めた賦課金により賄われており、この電気のCO2排出量については火力発電なども含めた全国平均の電気のCO2排出量を持った電気として扱われます。

※2: FIT電気分に環境価値を持つ非化石証書等を組み合わせることで、実質的に再生可能エネルギーを提供(当該電力はCO2排出量も0となります)しております。

## 経営理念に基づいて需給管理業務は自社で実施





## ① 決算状況

売上：約3億2,000万円  
純利益：約1,800万円

事業計画を上回り、  
累積黒字1,200万円

### 要因

- ・ 営業努力による契約件数増（事業計画比）
- ・ 需給管理自前化などによる経費削減
- ・ 暖冬などによる電源仕入価格の低減



## ② エネルギーの地産地消

販売する電力の41%が、  
地産のゴミ発電・太陽光由来！

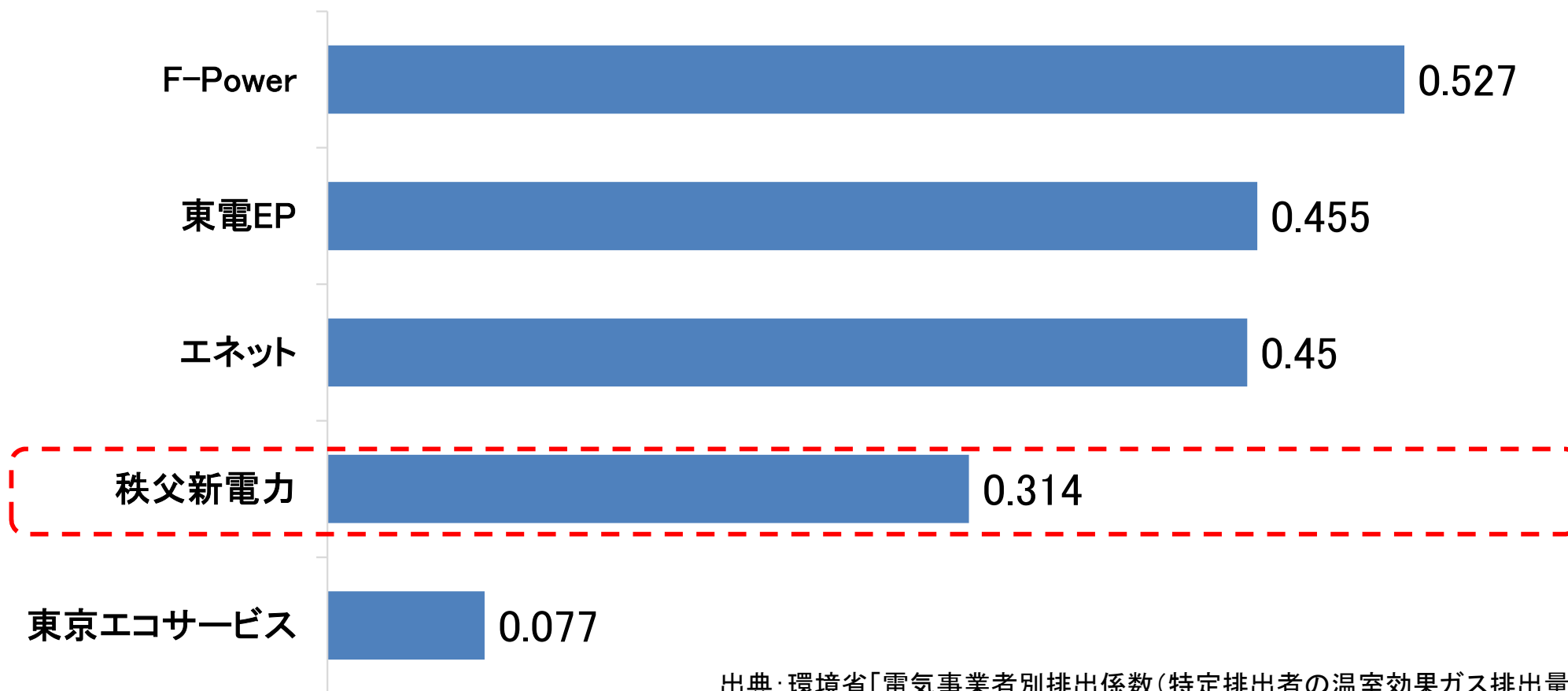


効果

お客様の温室効果ガス排出量  
を約3割削減！



## 【事業者全体の調整後排出係数比較】



出典：環境省「電気事業者別排出係数（特定排出者の温室効果ガス排出量算定用）」

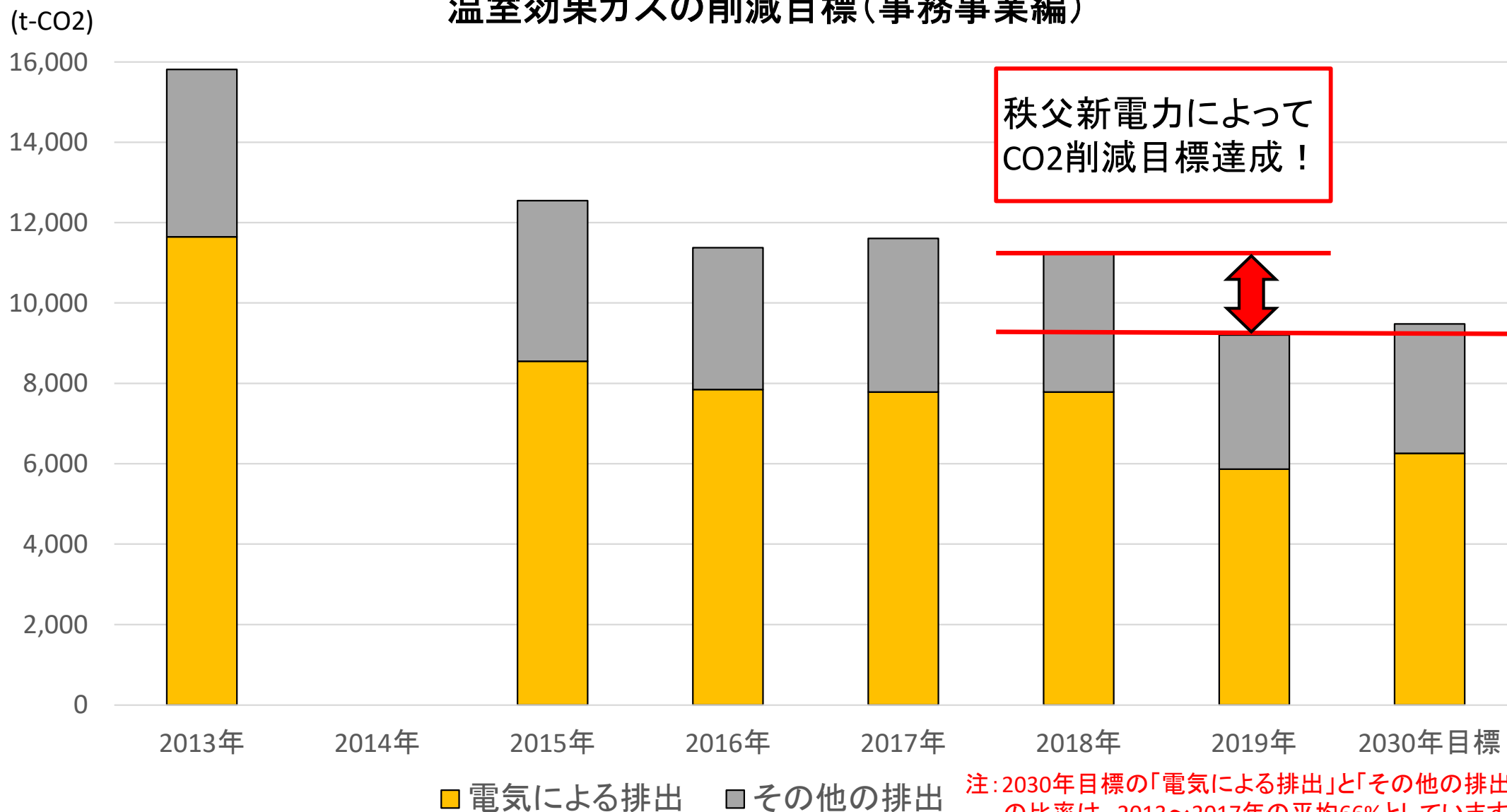
お客様のCO2排出量を約3割削減

※ただし、秩父新電力が電力供給している施設のみ



- 秩父市では公共施設のCO2排出量を2013年比で2030年までに40%削減する目標を設定。
- エネルギーの地産地消による温室効果ガス削減の手段として秩父新電力を明記。
- 秩父新電力の電力に切替えることで2030年目標値を10年前倒しで達成。

### 温室効果ガスの削減目標(事務事業編)



### ③ 地域経済の活性化

企業による地域経済効果を表す

「地域付加価値額」



約3,300万円！

純利益

電気代削減(約300万円)

地域雇用創出による所得増

地元企業への発注額

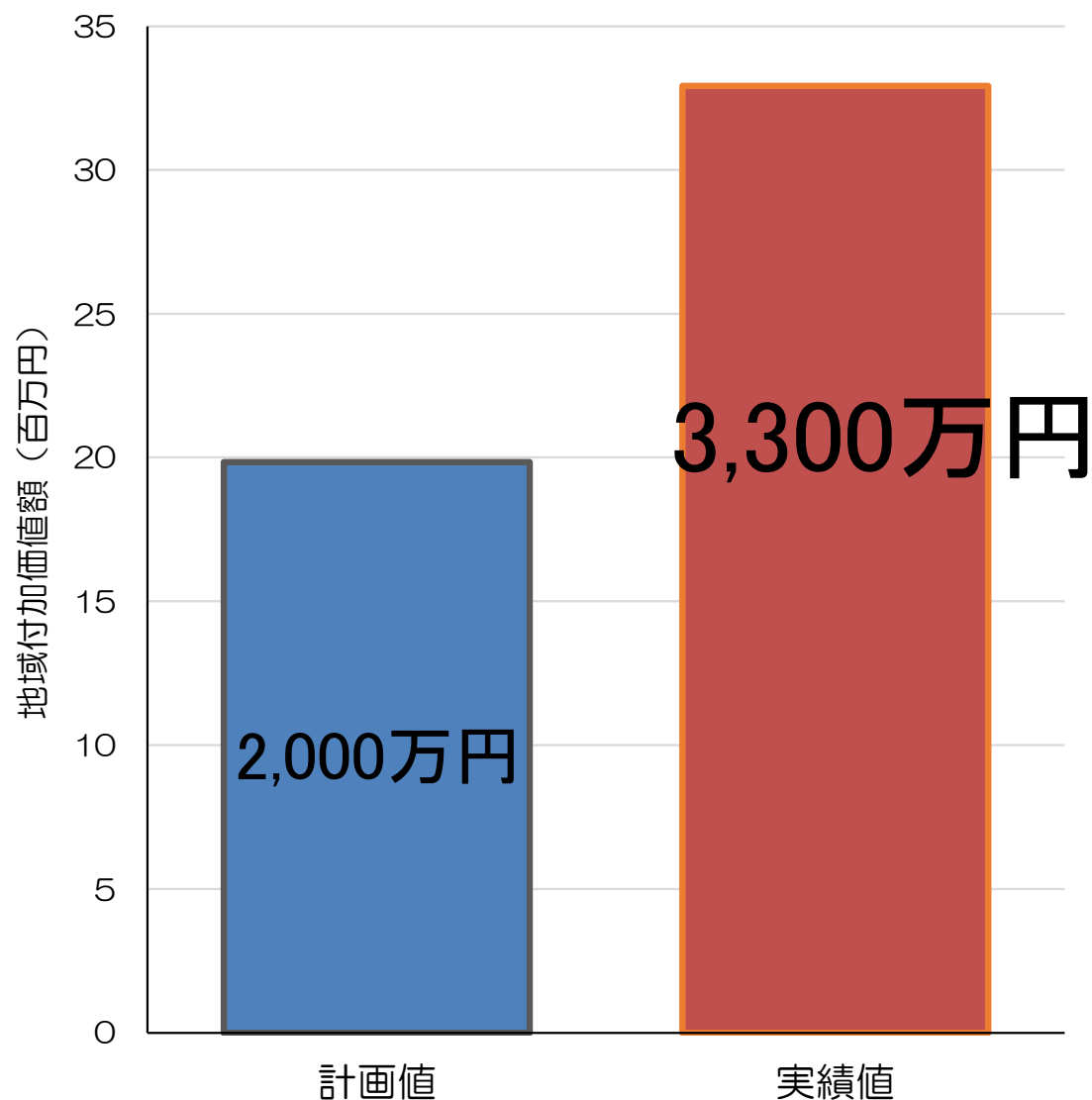
税収の増加

卒FIT買取プレミアム

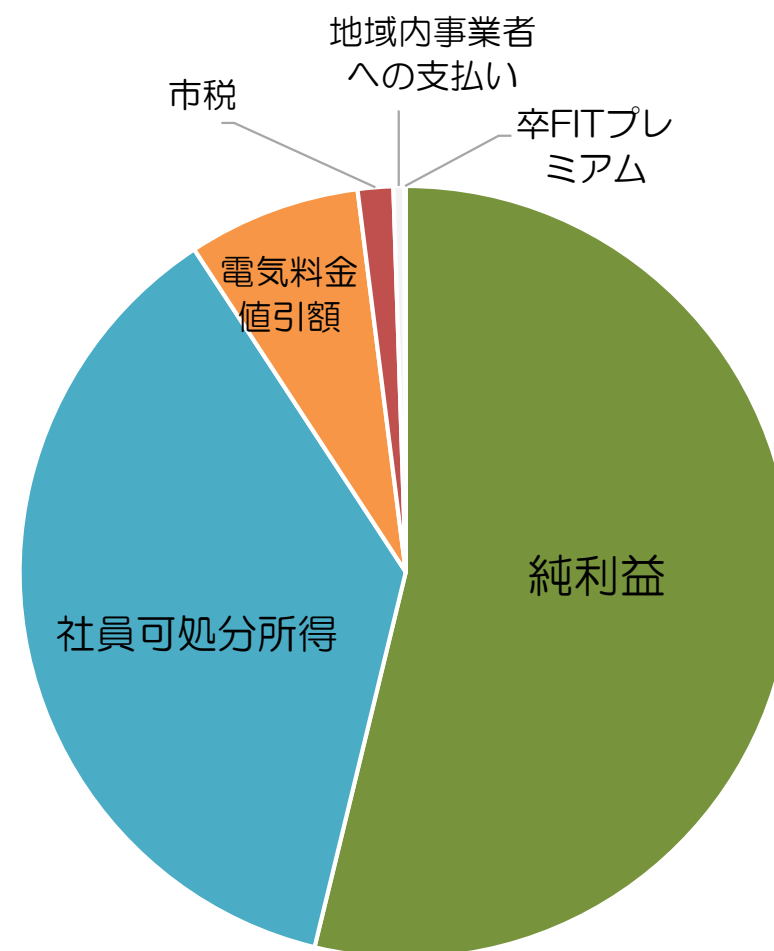


- 企業の地域経済効果を表す指標である地域付加価値額は3300万円になった。
- 需給管理内製化により地域外への流出を抑制することができたことが大きい。

### 地域付加価値額（2019年度）



### 内訳（2019年度実績値）



## ④ 地域課題の解決

累積黒字は内部留保として蓄え、  
将来的にインフラ整備等に再投資



例えば

避難所に太陽光と  
蓄電池を設置

自然災害の激甚化等



地域エネルギーインフラ存続の危惧



再エネを活用した  
持続可能なまちづくり



秩父市は2050年までにCO2排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」に取り組むことを宣言します

## ① 「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて取り組むことを宣言します

秩父市では、2050年までに市内の二酸化炭素（CO2）排出量実質ゼロ※を目指す「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて取り組むことを埼玉県の自治体で初めて宣言します。

今後、「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、各種の取り組みを進めます。

※CO2の人為的な発生源による排出量と、森林等の吸収源による除去量との間の均衡を達成すること。

## ② 取り組み内容

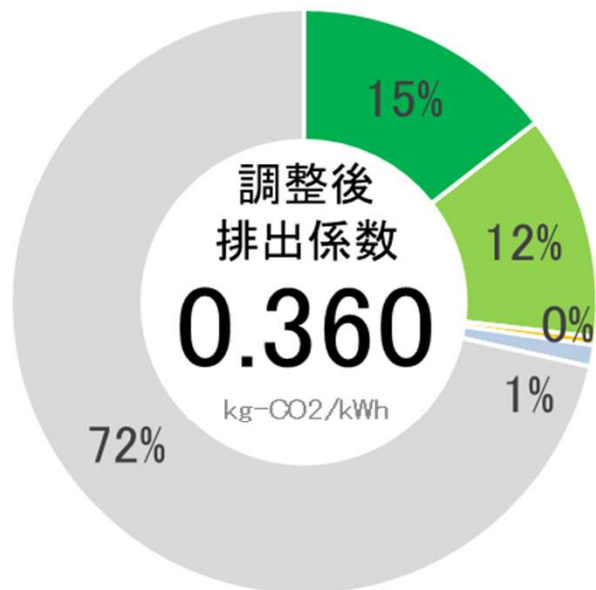
- 市が出資する地域新電力会社「秩父新電力株式会社」と連携し、市内の再生可能エネルギーによる電源開発等の事業に取り組み、「ゼロカーボン電力」の提供の実現を図ります。
- 市内の先進モデルとして、現状の市公共施設の温室効果ガス排出量削減目標について、「現状目標の達成年度の前倒し」および「排出量ゼロ」に向けた取り組みを進めます。
- その他、「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、計画的に各種施策を推進します。





### 通常プラン

ちちぶ産比率: 28%

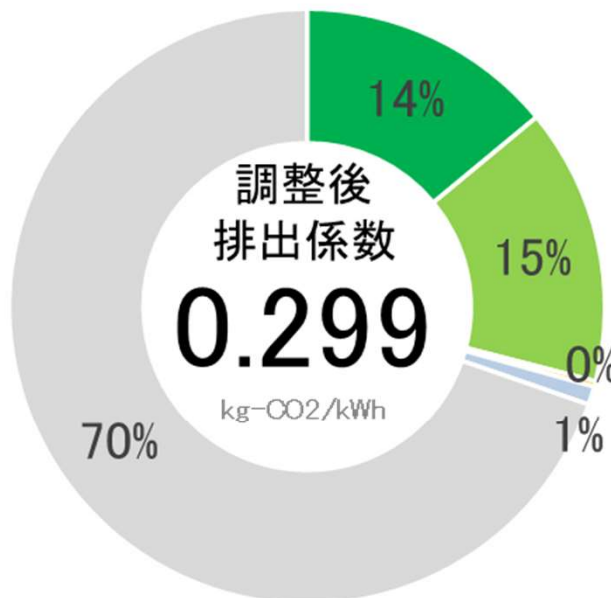


非化石証書  
20%

### ちちぶ

### Ecoサポータープラン

ちちぶ産比率: 29%

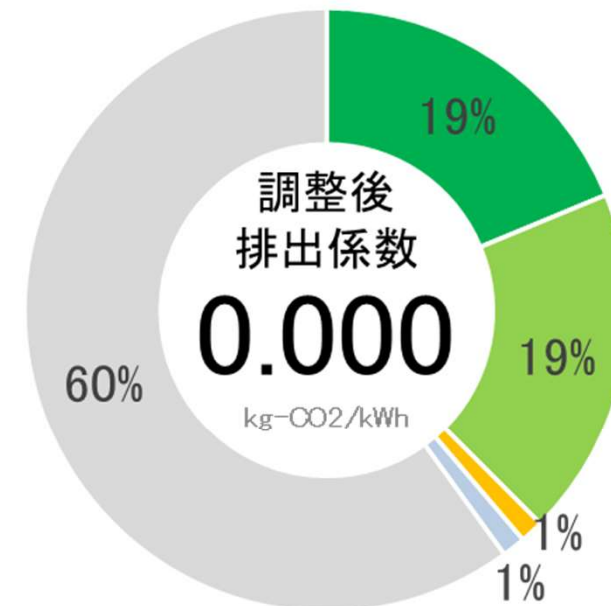


非化石証書  
34%

### ちちぶ

### RE100電力

ちちぶ産比率: 38%



非化石証書  
100%

- 秩父クリーンセンター (FIT電気 バイオマス)
- 秩父クリーンセンター (未利用エネルギー)
- 秩父寺沢川発電所 (FIT電気 小水力)

- 太陽光
- その他 (LNG火力やJEPX等)

- ちちぶ定住自立圏(1市4町)に拡大することで、周辺地域への波及効果を創出します。
- 将来的な市場環境変化に備え、県内外の自治体新電力との連携を目指し、電力共同調達や再エネ共同開発などを行います。



- 目標は「エネルギーの地産地消」と「地域経済の活性化」
- 定住自立圏の枠組みで電源調達から電力供給まで目指すのは全国初





- 2020年度から荒川区／豊島区の幼稚園・保育園等に電力供給。
- 目的は、荒川区／豊島区の低炭素化に貢献し、かつ区の子どもたちにちちぶで環境学習をしていただく等の人的交流を促進しながら、電力収益でちちぶの地域経済を活性化すること。





### 埼玉りそな銀行秩父支店様



埼玉りそな銀行様には、PR用の独自ポスターを作成し、店内に張っていただきました。

### 池袋ショッピングパーク様 (池袋駅32番出口等)



### アズ企画設計様 (埼玉県川口市)



### 立教大学での講義 「SDGsとグローバルの可能性」



### PUBLIC DINER様 (埼玉県熊谷市)



×

